

## 令和5年度第1回大船渡湾水環境保全計画推進協議会 議事録

### 1 開催日時及び場所

- (1) 日時 令和5年9月1日(金) 午後2時から午後3時20分
- (2) 場所 大船渡市役所 議員控室

### 2 委員の現在数 26人

### 3 出席者

- (1) 委員 16人

佐々木武〔国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所 副所長〕  
中田浩一〔岩手県沿岸広域振興局保健福祉環境部大船渡保健福祉環境センター 所長〕  
野崎 弥〔岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター 所長〕  
長谷川和弘〔岩手県沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター 所長〕  
佐々木利昭〔大船渡市公衆衛生組合連合会 会長〕  
矢野トミ子〔大船渡市地域婦人団体連絡協議会 立根町会長〕  
柏崎明彦〔大船渡市農業協同組合 常務理事〕  
佐々木晋〔大船渡商工会議所 事務局次長〕  
新沼孝子〔夢ネット大船渡 理事〕  
金野たか子〔大船渡市農業委員〕  
佐藤惟司〔盛地区まちづくり推進員〕  
新沼眞作〔末崎地区まちづくり推進員〕  
佐藤高廣〔赤崎地区まちづくり推進員〕  
千葉憲明〔蛸ノ浦地区まちづくり推進員〕  
田村敏夫〔猪川地区まちづくり推進員〕  
山下 通〔日頃市地区まちづくり推進員〕

- (2) 事務局 10人

大船渡市

市民生活部長 新沼徹  
市民環境課長 鈴木康代、同課 課長補佐 金野道程、同課 係長 米田大祐、  
同課 主事 川畑大  
農林課長 大和田達也  
企業立地港湾課 課長 富澤武弥  
水産課 課長補佐 鈴木雅博  
下水道事業所 所長補佐 岡崎充博

岩手県

大船渡保健福祉環境センター 環境衛生課 主査 白藤裕久

- (3) 令和4年度環境関連調査受託業者 4人  
日鉄環境株式会社分析ソリューション事業本部 釜石センター  
環境・材料分析室課長 中馬慶子、技術アドバイザー 青木延浩、  
技術アドバイザー 大谷考一、営業室 野田 純

#### 4 議事の経過(要旨)

##### 【委員紹介】

鈴木市民環境課長から、前回会議後に委嘱された中田浩一委員、佐藤高廣委員、田村敏夫委員を紹介した。

##### 【会議成立要件報告】

米田係長から、委員26人中16人出席であり、委員の半数以上の出席があることから成立する旨を報告。

##### 【報告】

- (1) 令和4年度大船渡湾水環境保全計画実施計画実績報告について
- (2) 令和4年度環境関連調査結果について
- (3) 重点施策の令和4年度取組実績について  
全ての報告について承認された。  
質疑等は、下記のとおり。

- 質疑応答 -

- (2) 令和4年度環境関連調査結果について

[佐々木利昭委員]

今年地球温暖化の影響か、例年に比べて非常に気温が高い。  
気温が上昇することで、大船渡湾の環境にはどのような影響があるか。

[日鉄環境(株)青木アドバイザー]

水質の面では、気温が上昇することで湾の上層の温度が上がり、下層との温度差が大きくなる。

温度差が大きいと上層と下層の水が混ざりにくくなり、下層の溶存酸素飽和度が低下することが想定される。

また、水温が高くなることでプランクトンが増殖することも考えられる。

##### 【協議】

- (1) 令和5年度大船渡湾水環境保全計画実施計画について
- (2) 重点施策の令和5年度実施計画について
- (3) 大船渡湾水環境保全計画の改定に係る基本方針について

全ての協議事項について承認された。

質疑等は、下記のとおり。

- 質疑応答 -

(1) 令和5年度大船渡湾水環境保全計画実施計画について

〔佐々木利昭委員〕

環境ボランティア活動の支援と育成について、私の所属する大船渡市公衆衛生組合連合会大船渡支部でも、昨年に清掃活動を行い、ごみ袋の支援を受けた。

市内各種団体に支援とあるが、どのような団体が支援を受けたか。

〔鈴木課長〕

昨年は、老人クラブ、スポーツ少年団、女性団体、公民館の環境部会等にごみ袋の提供やトンゴの貸し出しを行った。

地域の清掃を行う団体及び事業所は、事務局に声掛けいただきたい。

〔佐々木利昭委員〕

支援を受けている団体数はどのくらいか。

〔鈴木課長〕

令和4年度は10団体、今年度は現時点で6団体に支援を行っており、今年度は昨年同時期より支援団体数が多い。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、清掃活動を実施する団体が増えていると考えられる。

〔佐藤惟司委員〕

地域公民館で行う市内一斉清掃は、高齢化により実施が困難な状況になってきている。

一斉清掃時に使用する草刈機やトラックについて、以前は地域で用意できていたが、最近では用意が難しいため、市で貸し出しはできないか。

〔鈴木課長〕

一斉清掃の際の草刈機の貸し出しは現在のところ考えていないが、汚泥運搬のトラックの巡回ルートに地域を追加することは可能と思われるので、一斉清掃の際に声掛けいただきたい。

〔佐藤惟司委員〕

環境関連調査の報告において、カキ養殖を行う水深では低酸素等の影響が少ないとあったが、湾内の浄化がカキやアワビなどの養殖に与える効果について、今後、調査を行うことは考えていないか。

〔鈴木課長〕

湾内の浄化と養殖への効果について、今年度に策定する大船渡湾水環境保全計画の中で、どのように対応していくかを検討していきたい。

【その他】

質疑等は、下記のとおり。

- 質疑応答 -

〔新沼眞作委員〕

市が震災後に高台移転等で購入した土地について、利用されておらず草が繁茂しているところがある。

こういった土地の管理は、どこで行っているものか。

〔新沼部長〕

市の購入した移転跡地については、所有者である市が管理するものであり、担当課は土地利用課等となる。

今年度は気温や雨の関係で例年より草が繁茂していると考えられ、適切に管理するよう所管課に伝える。

〔新沼眞作委員〕

大船渡湾の湾口防波堤は、震災後の復旧で通水管が設置された。この通水管が水質改善にどのような効果があるかを伺いたい。

〔佐々木武委員〕

震災後の湾口防波堤の復旧工事において、海底に直径 3.5m の通水管を 18 本設置している。

通水管の効果については、県及び市の調査データを提供いただき、防波堤の内側と外側で海水交流が行われているかを検証している。

検証の結果、現在のところ海水は概ね循環しており、今後においても、検証結果を報告したい。